

## 「高知県新型インフルエンザ等対策行動計画（案）」への意見に対する県の考え方

「高知県新型インフルエンザ等対策行動計画（案）」について、平成25年11月15日（金）から平成25年11月28日（木）まで県民の皆様等からのご意見を募集しましたところ、1名の方から2件のご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見とそれに対する考え方について、下記のとおり取りまとめましたので公表いたします。

貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

番号	ご意見等の概要	ご意見に対する考え方
1	<p>インフルエンザのみならず、呼吸器感染症全般（上気道炎、肺炎、結核、季節性インフルエンザを含む）の罹患・重症化の予防、及び死亡リスク対策として「タバコ対策=禁煙推進、受動喫煙の危害防止」が重要ですが、新型インフルエンザ対策行動計画にこの「タバコ対策=禁煙推進、受動喫煙の危害防止」を基本対策として盛り込むことが不可欠です。</p>	<p>喫煙による健康への影響は多岐にわたるため、第3期高知県健康増進計画「よさこい健康プラン21」を策定し、喫煙が健康に及ぼす影響などを県民に対して啓発するとともに、喫煙者への禁煙支援、家庭や職場における受動喫煙を防止する環境の整備、子どもたちを喫煙開始させない環境の整備など総合的な喫煙対策に取り組んでおります。</p>
2	<p>新型インフルエンザのパンデミックの予防・蔓延防止に備えて県民市民に禁煙を促し、受動喫煙の危害防止対策を推進すること、取り分け「受動喫煙防止条例」の早期制定を連動させて、禁煙推進と受動喫煙の危害防止の徹底遵守・周知が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザと喫煙の関係は、喫煙者は非喫煙者の2.42倍インフルエンザに罹患しやすく、罹患すると重症になることが確かめられています。（喫煙者は非喫煙者の2.42倍インフルエンザに罹患し、症状が重くなる確率は、非喫煙者30%、ヘビースモーカー54%、インフルエンザ患者の31%は喫煙がなければ発病しなかった。Lidia et al. Cigarette Smoking and Infection. Arch Intern Med. 2004;164:2206-2216)</li> <li>・またインフルエンザの死亡のリスク要因は動脈硬化を主とする心血管系疾患、糖尿病、呼吸器系疾患などであり、かつ喫煙及び受動喫煙は、これら疾患の予防可能なリスク要因です。（これらは喫煙で2～10倍増える）</li> <li>・従って、新型インフルエンザの罹患・重症化・死亡リスクを減らすためには、生活習慣病対策、とりわけ禁煙・受動喫煙防止推進が最も重要な対策のひとつです。新型インフルエンザ対策としてタバコ対策は非常に有効なので、これらの対策を行動計画に盛り込むべきです。</li> </ul>	<p>ご意見については今後の施策の進め方の参考とさせていただきます。</p>